

令和4年度環境基本計画進行管理の集計結果について

1. 環境基本計画のめざすもの

環境基本計画は、環境保全に関する長期的な目標と施策の方向性を明らかにしたもので、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定されました。

この計画でめざすまちの姿は「人と鳥が共存し、手賀沼を誇れるまち」です。手賀沼を我孫子の環境のシンボルとし、野鳥の生息をまちづくりの“ものさし”として、我孫子での暮らしを誇れるまちをめざしています。

これを実現するために、次の4つの柱からまちづくりを進めています。

- ① 自然の成り立ちと営みを踏まえた、自然環境を活かしたまちづくり
- ② 人と自然とのかかわりを大切に、鳥などの生き物と共存するまちづくり
- ③ まちのシンボルとして手賀沼を誇れるまちづくり
- ④ 環境にやさしい新たなライフスタイルと社会システムづくり

2. 計画の期間

2001年度（平成13年度）～2022年度（令和4年度）までの22年間です。

（改定後の計画は、2012年度（平成24年度）～2022年度（令和4年度）までです）

※当初は、計画期間を2001年度（平成13年度）から2020年度（令和2年度）としていましたが、市の最上位計画である第四次我孫子市総合計画との整合性を図るため、計画最終年を2020年度（令和2年度）から2022年度（令和4年度）に延長しました。

3. 環境基本計画の実行計画

「我孫子市環境基本計画」の実効性を高めるために、市の環境に関連する個別事業を施策展開の方向ごとに位置づけた実行計画を策定しました。この実行計画は、環境基本計画の計画期間についてⅠ期を5年、Ⅱ期を6年、Ⅲ期を4年、Ⅳ期を7年で区切り、取り組むべき事業の目標を具体的に整理しています。そして、毎年、施策展開の方向ごとに位置づけられた個別事業の進捗状況を点検・評価することで、この実行計画に位置づけられた取り組みを着実に進めています。

4. 令和4年度環境基本計画進行管理の集計結果

各課に対し、令和4年度の行政評価の個別事務事業についての進捗状況の実績値（％）を求め、これを点検して総合的な評価を行いました。集計結果は次のとおりです。

〔調査概要〕

(1)調査目的

施策展開の方向ごとに位置づけられた行政評価の個別事務事業の進捗状況の実績値を把握・点検し、施策の達成状況の総合的な評価を行う。

(2)調査年月 令和5年8月

(3)調査対象 令和4年度の個別事業の進捗状況

(4)評価方法 各課行政評価個別事務事業の達成率（％）

〔総合的評価〕

第Ⅳ期分の実行計画に位置づけられた217事業（ふれあい工房が廃止されたことにより現在は215）のうち、1. 自然環境を生かしたまちづくりの48事業、2. 生き物と共存するまちづくりの28事業、3. 手賀沼を誇れるまちづくりの16事業、4. 環境にやさしい新たなライフスタイルと社会システムづくりの69事業が概ね達成という評価となりました。令和3年度と比べ実績値平均は上昇していますが、新型コロナウイルス感染症蔓延以前の水準には達していません。新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等を中止・縮小せざるを得ない状況が続いていることが理由として考えられます。

◎令和4年度◎

環境基本計画の4つの柱	個別事業の進捗状況(事業数)			合計 (事業数)	実績値平均
	達成・概ね達成 75%以上	部分的・達成見込 50%以上 75%未満	未達成 50%未満		
1. 自然環境を活かしたまちづくり	48	9	1	58	93.72%
2. 生き物と共存するまちづくり	28	9	1	38	87.54%
3. 手賀沼を誇れるまちづくり	16	6	3	25	79.69%
4. 環境にやさしい新たなライフスタイルと社会システムづくり	69	15	10	94	103.92%
合計	161	39	15	215	95.46%